

平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	ペア型免疫受容体を介した感染・免疫制御機構の解明
研究代表者	荒瀬 尚 (大阪大学・微生物病研究所・教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>本研究は、ペア型レセプターと病原体との共進化という独創的な仮説に基づくものであり、宿主と病原体両側からの解析は実現性が高い。ペア型レセプターが多型に富み生物種によって異なることと、感染様式によって使用するレセプターが異なることで免疫制御を行っているという点は、感染症の病因論として興味深いものであり、自己免疫疾患やガンなどの病因仮説への波及効果は大きいと考えられる。</p>